



田内さんて現場でよく話しかけられますよね? 何か心がけていることはあるんですか? 田内:現場ではご近所さんとのコミュニケーションは特に大

切にしています。近隣の方の顔をなるべく覚えて挨拶する! とか基本的なことですけど。俺たちは完成したら終わりだけ ど、お客様にとってはずっと続いていく人間関係だから、 やっぱりそこは気をつけるようにしています。近隣とのコミュ ニケーションの部分まで考えて接するって、思い入れがな いと出来ない仕事の仕方でもあると思うしね。やっぱりお 客さんと直接やり取りして仕事するのは大きいですね。

## HANDS 図面を書く手で釘を打つ

田内さんは、設計しながら現場も入っているんですが、

田内:率直にいうと大変です。"設計"専門であれば①設

計=思いをつめこむ②工務店に見積もりを取る=現実を知る③調整していく、というステップを踏むことが可能なんですけど、自分たちは実際の"ものづくり"に落とし込んだ時のお金・時間・物の感覚がわかる分、①のタイミングですでに調整がかかってしまう時があります。それはとても真摯な家づくりだと思う反面、夢のある提案ができてないんじゃないかと悩む時は、ありますね。

なるほど、施工に関わっている分、構造や予算を一旦度外視して考えるということが難しいと

田内:そうですね「あーそれ構造上不安ですよ」とか「予算とコストが合わないのでこれは 難しいです」って話が最初の方から出てしまう。家づくりの現実がわかっているのがうち の強みでもあるしそれでいいとも思ってるんですけど、お客様に「ダメなことばかりでつま らないなぁ」と思われていないか心配になりますし、気をつけなければと思います。

## BRAIN 頭のなかに浮かんだ 「何か違うなぁ」に忠実に

田内さんは芝浦工業大学の大学院を出ていますよね。その後どういう 経緯で鯰組へ?

田内:アトリエ系設計事務所で設計のバイトをはじめて、そのまま設計事務所で働こうと思っていたんですが、「何か違うなぁ」って思いだしたんです。その「何か違うなぁ」を漠然と抱えていた頃、たまたま蕎麦屋で大工さんと相席になって。何気なく大工さんと話をしたところ、その大工さんに大工技能試験用の講習会に誘われたんです。その講習会に約半年間通ううちに「おお、大工すげーな」と思うようになりました。それで大工になろうと思ったんです。その後修行を探したところ、同じ大学卒の人が社長をしている工務店に入社を許されて、そこで5年修行しました。修行中も「いつか設計をやりたい」という思いを社長にも伝えていたら、ある日「そういうノリの会社があるよ」と鯰組を教えてもらって…

今に至る、と。

田内:そう。でも鯰組の人たちって「なんか違うと思った」ってみんな言うんだよなぁ~。みんないつも色々考えて「なんか違う」って思って鯰組に来る。そういう奴の集まりなのかもしれません。

## FEET 田内徹郎の足下

田内さんは得来のビジョンはありますか? 田内:ビジョンというか、独立はいつ かするんだろうなと思っています。で もまだ勉強中です。

奥様が設計をされてるんですよね?いずれ二人でとか…

田内:そうですね、「あなたとは一緒に仕事したくない」ってすでに言われてますから(笑)。追々考えます。まずは目の前の仕事をしっかりやって成果を積み重ねて行こうと思います。

ありがとうございました。





### 建て主は、職人とデザイナー

鯰組が信頼を置き、共に仕事も重ねている植木職人荻野雷太(おぎのらいた)さん。センスが良く、何気なく話すデザインや美術に関する造詣の深さにドキッとするような職人です。そんな雷太さんを育てたお父様、荻野克彦さんはテーブルウエアや家具なども手がけるプロダクトデザイナー。荻野家の皆さんとの家づくりは、住宅の本質やものづくりへの追求となっていきました。

### 基本情報

所在地/東京都 敷地面積/185.36㎡ 家族構成/ 建築面積/79:14㎡ 1Fご夫婦2人 延床面積/144.08㎡ 2F子世帯ご夫婦2人 構造/木造 +子ども1人 階数/地上2階 用途/住宅 竣工/2014年2月 今住宅業界は、二世帯住宅が熱い。と言っても過言ではないほど、二世帯住宅に関する関心が高まっています。相続税の税制上のメリットや、共働き世代が増える中での子育て面でのメリット等が注目され、二世帯住宅に関するイメージが見直されつつあるようです。

そんな中、鯰組にも"二世帯住宅を作りたい"というお客様がやってきました。



## <mark>鯰組の価格帯と自</mark>由度

<mark>鯰組の家づくりは、</mark>大きく分けて3つの価格 帯に分けることができます。

1 露出する木材の使用を重要な箇所に限定し、間 取りもシンプルにする事で実現する、70万円台/坪~ 80万円台/坪(設計料+工事費)の価格帯のしっ かりとした木造住宅。(設計自由度★★)

2 露出する木材の使用を多くし、間取りや仕様にもう 少し自由を持たせることができる90万円台/坪~ 120万円台/坪(設計料+工事費)のオリジナリ ティーのある木造住宅。(設計自由度★★★)

3 茶室付住宅のような数奇屋づくりの家など、数寄屋建築や社寺仏閣の修復に携わってきた職人の 技術を最大限に活かした高級住宅。(設計自由度

#### \*\*\*\*\*)

※既存住宅の解体費用は一般的に別途100万円~ 200万円程度かかります。

※地盤改良が必要な場合には一般的に別途100万円 程度かかる事があります。

※二世帯住宅は設備機器の数が多く、割高になります。 ※設計自由度は弊社独自の評価基準による表記です。 今回の荻野邸は②の価格帯での家づくりと なりました。

住宅における自由設計とは「自分が欲しい家が確実に手に入る」ということではありません。基本プランの数種類の中から間取りを選べることを自由とする住宅メーカーもあれば、生活の聞き取りからはじめ、ライフスタイルに合わせて間取りを作るということを自由とするところもあります。



間取りのパターンを数種類に限定しておくことは、同じ家を何軒も建てることにつながります。前者の家づくりは、材料を大量発注することができコスト削減にもつながりますし、複雑な作業が少ないので経験の浅い職人でも建てることができるなどのメリットがあります。しかし、選択肢の中で収まらない要望は、オプションとなり割高になってしまうこともあります。

鯰組の価格帯②に該当する家は、ライフスタイルに合わせて間取りから考えま

すので、同じ家は2戸と建ちません。しかし、構造や建築基準法上の問題で諦めざるをえないこともあります。色々な条件の中でも私たちは、なるべくお客さまの生活や思いに寄り添った仕事をしたいと考え、古い家の建具を新しい家に活かすなど、様々なことに挑戦しています。社内に設計者と監督と職人が在籍することでうまれる、シンプルな情報伝達と高い技術力を持つ社内大工の技術力。この2つがあってこそ、そういった家づくりが可能になると考えています。







## 荻野邸こだわりポイント

1:奥の色の濃い床は、前の家の床板を使用。"面無し"のフローリングは古い洋館などで見られるが、一般的に住宅ではあまりみかけない。手前が一般的なフローリング。

2:新たに貼り直した"面無し"の床。無垢材は割れや反りが出やすく特に難しい。「これは 職人泣かせだった」と担当の田内。

3:雷太さんが見つけてきた電気のスイッチ。「床 もスイッチも以前住んでいた家がそうだったの でこれが普通だと思っていました。」と雷太さん。

i



#### <mark>荻</mark>野邸の大胆な取捨選択

荻野邸は新防火地域※1内に立地しており、準耐火建築物にする必要がありました。そこで、木の質感を活かしながら防火基準も満たす「燃えしろ設計※2」を取り入れることになりました。「燃えしろ設計」を取り入れている建築会社は、まだ多くはありません。また、荻野邸は電気のスイッチ1つにも妥協がありません。建て主指定の部品も多く、必然的に「取り付けたことがないもの、やったことがないこと」に各職人たちが挑むこととなりました。荻野邸の家づくりでは、こだわりを詰め込んだだけではなく"普通の家には絶対に

付いているけれど本当に必要か疑ったことがないもの"を見直す作業も行いました。住宅の"要素"を徹底的に分解する作業です。結果、荻野邸からは網戸が取り払われました。

やりたいことを詰め込むと、その分費用もかかります。 自身の生活と向き合い、本当に必要なものを見極めることで、限られた費用の中での家づくりが可能になってくるのです。特に荻野邸のような大胆な取捨選択は、常識よりも本質を追求してきた人、ものづくりをしてきた人でないとなかなか出来ないことだと思いました。ここにも、建て主の個性が出るのだと思います。





1:雷太さんのお母様のキッチン。 荻野家の女性は料理上手だ。 2:雷太さんの奥様のキッチン。 業務用のキッチンメーカーでオー ダーメイド。

### 二つの生活を受け止める家

2階は大きな窓が開放的な明るい空間。窓からは植木職人の雷太さんが大きく育てたもみじの木が見えます。「このもみじありきの窓なんです。窓の位置も担当の田内さんと何度も相談して決めました。」と話す雷太さん。設計段階から、出来る限り木を切らないでほしいと依頼したといいます。「子供の頃からあった木を切りたくなかったんです。普通は家と建てる際に更地にしてしまうことが多いのですが、対応していただけて良かったです。」と話します。

「主人の両親やご近所さんに見守られながら子供が 育っていけることは安心感がありますね。」と話すのは 雷太さんの奥様。「最近子供が一人で動き回るように なったので、見守る家族が多いのは本当に助かりま す。いつの間にかおじいちゃんとおばあちゃんの部屋に 行ってしまうことも多いですよ。」と、二世帯での暮らし の良さを感じているようです。

荻野家といえば豊かな食卓。大皿に盛られた季節の料理がたくさん並ぶ、おおらかな食卓を支えてきたのが雷太さんのお母様です。「以前のキッチンは独立したコックピットみたいな狭いキッチンだったんです。扉を閉じて誰にも見られないのをいいことに、バタバタと動きまわってきました。新しいキッチンは広くなったぶん作業がしやすくなりました。ただ、常に居間から見える状態



なので作業はおしとやかになりました。キッチンはかわったけれど出る料理は急においしくなったりしません、前と同じ」と茶目っ気たっぷりに話します。

## 二つの生活を受け止める家

「基本的に家は成長とともにあらなければいけない。家のせいで不自由しちゃいけない。住宅は生活の器であってその器に支配されてはいけないんです。コップは買い換えることができるけど、家は買い換えることが出来ない。家を買うということは、本当はおかしい。買い手と作り手が飲み食いしながら非常にリアルな話をして、作り上げていくということが大切なんだと思います。」そう語るのは、雷太さんのお父様である克彦さんです。

今回の二世帯住宅への挑戦は、まさに建て主と作り 手が膝を付き合わせ、作り上げるという作業でした。間 取りのプラン化ももちろん需要はあるのですが、家族の かたちやライフスタイルが多様化する中、生活と向き合 うという家づくりのプロセスにも価値があると、鯰組は考 えます。こういうものづくりを、これからも続けていきたいと 思います。

※1新防火地域は通称です。正式には「新たな防火規制」といいます。準防火地域指定区域のうち、震災時の火災による 危険性が高い地域及び避難場所の一部について、建築物 の耐火性能の強化を目的として設けられました。

※2火事で消失すると想定される木材の表面部分を燃えしろといい、燃えしろを想定して部材の断面寸法を考え設計することを、燃えしる設計といいます。



取材の最後に、家族写真

を撮影させていただきまし

た。荻野雷太さんは現在

自宅の一角を事務所に

し、植木職人として都内の

お庭を飛び回っています。 庭木についてのご相談は

メール info@ogino-ueki.com

まで。





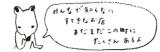


嚶

#### 参加者募集

あなたの知らない地元を食べに来ませんか?

# マチクイ食堂OPEN



#### マチクイ食堂とは??

まちづくりのきっかけになるような、食と文化を提供する食堂。要町周辺エリアで買うことが できる美味しい食材を使ったお料理や、あのお店の看板メニュー、隠れた名店など、地域の お店を紹介する1夜限定の食堂です。また食事の他に、ゲストスピーカーによるトークライブ も実施。これからの要町周辺エリアの暮らしやまちのことについて考えていこうと思います。

【第一回目のテーマ】

#### 大 Tトーク 一ものづくり から まちづくりへー

#### 話し手 | 大工 岸本 耕

建築事務所鯰組代表で大工。芝浦工科大学建築学科卒業。 在学中に名棟梁田中文男氏を知り、在学中より大工修行を始める。 その後 2004 年に独立。古民家の移築などを手掛ける。その後も 大工として学んだ技術と設計の知識を生かし、古い家の修復や、古 い建具を新築に取り込んだ家など、技術とデザインを生かした家づく りを行っている。2010年、事務所の1Fにカフェ「なんてんcafe」をオー プン。「鯰組の家での暮らし」が想像できる広報スポットとして、またま ちづくりの拠点となるようなカフェを目指して活動している。

場所: なんてんcafe

日時: 6月25日(水)19:00 OPEN ※定員10名です 参加費: 2.500円

(テーマにそったお食事・ワンドリンク・おみやげ付き)

お申し込み: カナメマチカラfacebook

(https://www.facebook.com/kanamemachi)

お雷話(03-5986-1087)

メール (info@nantencafe com) 馬把真理子 (マガマリコ)まで。

※ドリンクは持ち込み可です。たくさんお酒を召し上がる方は是非お持ち込みください。 ※収益の一部は、鯰組・なんてんcafeが行うまちづくり活動

"カナメマチカラ(仮)"の活動資金とさせていただきます。



#### マチクイ スタッフ募集

# \* なんてん cafe

なんてんcafeは鯰組の運営するカフェです。 「食卓から暮らしを考える」を方針に、おいしい ご飯とくつろぎの空間を提供しています。住宅 のセールス等は一切ございませんので、ぜひ私 たちの仕事と雰囲気を偵察にお越し下さい。





鯰組OFFICIAL WEB MAGAZINE 「鯰の小窓 | 開いています! 鯰組のスタッフがブログ形式で 日々更新中。家づくりの裏側やイ ベント情報など盛り沢山です! ぜひお立ち寄りください。

#### **鮫日和編集後記**

意見、感想などいただけるととて

Facebookページもやっています。

こちらは

鲶 facebook で検索ください!



お問合せ

TEL: 03-5986-1081 FAX: 03-5986-1082 住所:〒171-0043 東京都豊島区要町 1-10-7 アクセス:有楽町線・副都心線「要町|駅2番出口 (エレベーター) 徒歩1分